第３１回白光園介護・医療連携推進会議　議事録

日時：２０２６年4月１７日（金）１３：００～１４：００
場所：病院会議室
出席者

東村山市役所介護保険課	三谷　氏
諏訪町３丁目自治会	宮崎　悦子　氏
白十字訪問看護ステーション	渡辺　恵子　氏
ヘルパーステーション白光園	嶋崎　可奈子
	岡田　恭平

議事

１．開会挨拶（嶋崎・岡田）
　省略
２．２０２６年４月日時点・運営状況及び地域に向けての活動について報告（資料参照）、意見交換。

３．意見交換の内容

（岡田）　３月中旬までサービスご利用頂いていたが、グループホームに入所され、無事過ごせているようだ。
（宮崎氏）　近所から苦情がきていた方々だったので、入所できてよかった。
（岡田）　ゴミ出しのことなど、近所から苦情がでていたのは、ケアマネを通じて周知していた。他には火の不始末や電子レンジのオーブンで冷凍食品を温めしまい、溶けた包装紙を見たことがあった。
（宮崎氏）　次の利用者はいないのか？定期巡回サービスはやめることはできないのか？
（岡田）　次の利用者はいない。定期巡回サービスが適した利用者がいれば対応していきたい。ケアマネから相談を受けるが、内容を精査すると通常サービスで組んだほうが良いことがほとんど。マンパワー不足もあり、白光園だけではカバーできない場合、他事業所に委託することは可能だが、予算上厳しい。
（宮崎氏）　継続する必要性はあるのか？
（岡田）　必要性のある利用者はいるはずだが、利用者の状態や金銭状況を踏まえ、利用者にとって最適なサービスが提供されるよう努めていきたい。
（三谷氏）　市全体に行けるか？職員は何名くらいいるのか？
（嶋崎）　職員やパート含め３０名いる。
（宮崎氏）　専属はいるのか？
（嶋崎）　行ける人が行くが、常勤プラスパート数名程度。市内全域行くことができる

が、萩山町など遠い場所になってくると、行けるパートがいない為、対応が難しくなってきている。

（宮崎氏）　どんな状態の方なら利用しやすいのか？

（岡田）　服薬確認や安否確認など１５分未満のサービス内容だと利用しやすい。

（宮崎氏）　盛んな地域があるけど、そこではどうしているの？

（岡田）　１日に数回訪問を毎日行っていた事業所があったが、それだと人件費等がかかってしまい、事業所の運営が心配になった。

（宮崎氏）　事業所にとってメリットがないと利用できないのか？

（岡田）　ケースバイケースで、例えば足腰悪くなってしまい、最初は定期巡回で手厚く入って、良くなってきた通常サービスに移行するという使い方もある。
最初から通常ならオーバーしても定期巡回なら何回入っても利用料金は定額だからという考えでプランを立てられても困る。
定期巡回ではなく、小規模多機能のほうが良い場合もある。

（三谷氏）　ケアマネに定期巡回の利用方法が浸透していないのではないか？

（岡田）　浸透していない訳ではないが、通常のプラン作成に慣れているところはあると感じる。だからこそわからない時はお問合せ頂き、一緒に検討していきたい。

次回会議日程について

２０２６年　１０月１６日（金）１３：００～１４：００　場所：病院会議室（予定）